

第5回 夢・未来 たからづか創生本部 本部会議議事録

日時：平成28年2月29日（月）16：00～17：30

場所：3-3 会議室

【次第】

1. 開会

2. 議事

議題1 宝塚市人口ビジョン（案）及び夢・未来 たからづか創生総合戦略（案）に対するパブリック・コメント意見について

議題2 総合戦略における今後の取組について

3. 閉会

【配布資料】

- ・宝塚市人口ビジョン（案）（最終版）（資料1）
- ・夢・未来 たからづか創生総合戦略（案）（最終版）（資料2）
- ・宝塚市人口ビジョン及び総合戦略修正（新旧対応表）（資料3）
- ・パブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表（資料4）
- ・地方創生加速化交付金の概要（参考資料1）
- ・新型交付金（「地方創生推進交付金」）の取扱い(案)について（参考資料2）

【出席者】※順不同

中川市長、井上副市長、谷本病院副事業管理者兼経営統括部長、上江洲理事、福永企画経営部長、森本総務部長、井ノ上都市整備部長、小坂子ども未来部長、山本産業文化部長、石橋消防本部消防長、岸本議会事務局長、岩城上下水道局長、中島技監、中西市民交流部長、山中危機管理監、川窪健康福祉部長、酒井環境部長、大西社会教育部長

【議事録】

（1）議題1 パブリック・コメント意見について

福永部長 1. の人口ビジョンと学校適正規模適正配置(案)のすり合わせに関する意見についてであるが、宝塚市は良好な住環境の確保に向けて政策として開発抑制を行っている部分がある。開発を抑制しなければ魅力のないまちになってしまう恐れがあり、そういった姿勢を持っていることを知っておいてもらいたい。パブコメの回答としては、現在の記載で問題ないと考える。

森本部長 3. の都市評価があまり高くないとされる項目に関連する事業は目標値の設定、実効性の確保の公表を行うことという意見に対して、「一部を戦略に反映する」とあるが、詳細を説明いただけるのか。

事務局 新旧対応表の説明の際に説明したい。

（2）議題2 総合戦略における今後の取組について

（事務局から交付金について説明。合わせて、加速化交付金で取り組みたいと思っている点、他の新しい交付金や補助を含めて、できるだけ活用したいと考えている旨を説明。）

福永部長 加速化交付金については、阪神間の他都市においても予算に既に盛り込んでいる。本市においても平成28年度にできるものはやれるようにしたい。新たなものを生み出すのは難しいと思うが、既存事業をパッケージ化したようなものであれば説明しやすい。そのためには政策

間調整が必要であり、福祉、子育て、環境、まちづくりなどでパッケージ化できればと思うので、それぞれの部局で検討をお願いしたい。

- 中川市長 福祉ではどんなものが考えられるのか。
- 事務局 例えば、高齢者福祉から高齢者の生きがいつくりとして、地域まちづくりに関連してよりあいサロンの整備、産業文化に関連して雇用促進の窓口整備、高齢者活動に関する情報発信や、高齢者のためのHPの立ち上げなどが考えられる。
- 谷本部長 各種交付金の事業期間に「5か年度」とあると、5年間でやり切る事業ということか、今後3年後から取り組むことなども考えてよいのか。
- 事務局 細かいことはまだ紹介されていない。総合戦略に掲げることで、複数年かけて実現していくものとして理解している。
- 森本部長 既存事業で充当できるものは徹底的に探して一時期であっても補助をもらってやっていくのは大切だと思うが、後々も取り組む必要があるものについては、継続して交付金がもらえるかの見極めが必要である。先ほどの計画期間の見方も含めて、国の交付金は注意が必要である。
- 事務局 総合戦略が5年の計画なので、5年としていると思われる。この交付金では官民連携や地域連携という表現がよく用いられているように、いつまでも市が関わらないよう自立性が求められており、市と民間の役割を示すことが大切である。
既存の事業をメインに整理していく考えで良いと考えている。
- 中川市長 本日の案のとおり、人口ビジョンと総合戦略を策定することで了承いただきたい。
- 事務局 今年度は人口ビジョンと総合戦略の策定に向けた会議であったが、次年度は計画に掲載した内容の取組状況を検討していくものとして、お願いしたい。
また、新型交付金については、なにか考えがあれば政策課に相談、協議を持ちかけてほしい。
- 中川市長 せつかくの交付金なので時期を逃さないよう、新たなものは取り入れていきたい。魅力あるまちをつくるための正念場と考えており、本部会議でもできるだけ意見を出すようにしてほしい。

以上